



2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2026年6月26日

上場会社名 DCMホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3050 URL <https://www.dcm-hldgs.co.jp/grp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 石黒 靖規
 問合せ先責任者 (役職名) 財務・IR担当 (氏名) 北村 圭一 TEL 03-5764-5214
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年2月期第1四半期の連結業績（2026年3月1日～2026年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	151,943	9.8	11,373	17.4	10,933	19.4	6,558	11.5
2026年2月期第1四半期	138,327	△2.2	9,685	△5.4	9,155	△1.6	5,881	3.4

(注) 包括利益 2027年2月期第1四半期 △6,199百万円 (－%) 2026年2月期第1四半期 9,541百万円 (71.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	47.75	—
2026年2月期第1四半期	43.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期第1四半期	646,303	285,725	44.2
2026年2月期	670,854	298,177	44.4

(参考) 自己資本 2027年2月期第1四半期 285,725百万円 2026年2月期 298,177百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	23.00	—	24.00	47.00
2027年2月期	—	—	—	—	—
2027年2月期（予想）	—	24.00	—	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	304,500	8.6	20,200	△3.1	19,300	△3.2	11,500	△5.2	83.09
通期	577,300	6.5	31,200	0.6	29,400	0.8	17,400	0.5	125.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年2月期1Q	146,500,000株	2026年2月期	146,500,000株
② 期末自己株式数	2027年2月期1Q	9,868,810株	2026年2月期	8,090,008株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年2月期1Q	137,364,523株	2026年2月期1Q	133,986,170株

(注) 自己株式数には、「役員報酬BIP信託口」及び「株式付与ESOP信託口」の所有する当社株式が含まれております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記載は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
3. 補足情報	10
商品別売上情報	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により緩やかな景気の回復が見られる一方で、イラン情勢をはじめとする中東情勢の緊迫化や米国の通商政策による影響に加えて、エネルギー価格や原材料価格の高騰など、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

小売業界におきましても、電気代や生活必需品などの継続的な物価上昇による生活防衛意識は依然として高く、加えてイラン情勢悪化によるプラスチック製品の原料となるナフサの不足や原油価格高騰による物流・配送コストの増加など、引き続き厳しい経営環境にあります。

そのような状況の中、当社は「すべてをお客さま視点からの発想で」をコンセプトに掲げ、「選ばれるDCMへの転換を加速する3年間」の実現を目指すために第4次中期経営計画（2026年度～2028年度）を始動させました。顧客戦略・商品戦略・店舗戦略・リフォーム戦略・DX戦略の5つの事業戦略を推進することで事業領域の拡大を図るとともに、人的資本経営の強化、サステナビリティへの積極的な取り組み、およびPBRを意識した経営の実践を通じて、社会に不可欠な存在となることを目指して取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間における販売面につきましては、中東情勢の影響によって、塗料関連用品やトイレットペーパーなどの紙関連商品、ラップ、ごみ袋など一時的なまとめ買いが発生しました。また、気温が高く推移したこともあり、エアコンや扇風機、空調ウェアなどの夏物作業衣料が好調に推移しました。DCMブランド商品につきましては、原材料価格の高騰と円安による仕入価格の上昇、物流コスト上昇などの影響を受けておりますが、環境に配慮した商品開発、節電や節約商品の新規展開、販促強化などに取り組んだ効果もあり、売上高構成比率を引き上げることができました。また、エクспライズ㈱のPB商品（MAXZEN）についても重点販売に取り組んでまいりました。

当社グループの新規出店につきましては1店舗、退店につきましては1店舗を実施しました。これにより、当第1四半期連結会計期間末日現在の店舗数は918店舗となりました。

ホームテック㈱につきましては、みなし取得日を2025年12月31日としているため、2026年1月1日から2026年3月31日までの業績を含めております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は1,519億4千3百万円（前年同期比109.8%）、営業利益は113億7千3百万円（前年同期比117.4%）、経常利益は109億3千3百万円（前年同期比119.4%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は65億5千8百万円（前年同期比111.5%）となりました。

(主要商品部門別の状況)

① 園芸部門

気温が高く推移したことによって、除草関連用品や散水用品など園芸部門全体で好調でした。中東情勢の影響としては、ストレッチフィルムや農業用ビニールなどが好調に推移しました。その結果、売上高は286億3千1百万円（前年同期比107.3%）となりました。

② ホームインプラーブメント部門

昨年が多雨だった影響もあって合羽などの雨具関連用品は低調だったものの、空調ウェアや網戸など夏物用品が好調に推移しました。中東情勢の影響としては、ペイントうすめ液などの塗料関連用品や接着剤などの補修用品が好調でした。その結果、売上高は297億9千0百万円（前年同期比112.6%）となりました。

③ ホームレジャー・ペット部門

自転車本体やペットフードは低調だったものの、カー用品やレジャー用品は好調に推移しました。中東情勢による原油高懸念によって、エンジンオイルなどが好調でした。その結果、売上高は202億9千2百万円（前年同期比105.8%）となりました。

④ ハウスキーピング部門

昨年在庫が少なく価格が上昇した米は反動を受けて低調でしたが、中東情勢の影響によって、トイレットペーパーなどの紙関連商品やごみ袋の販売が大幅に上昇しました。また、洗濯洗剤や住居洗剤等も好調でした。その結果、売上高は304億7千2百万円（前年同期比107.1%）となりました。

⑤ ホームファニシング部門

気温が高く推移したことによって、すだれや冷感ラグ、い草ラグなどの夏物用品が好調に推移しました。その結果、売上高は59億2千8百万円（前年同期比101.5%）となりました。

⑥ ホームエレクトロニクス部門

エアコン2027年問題の影響もあって、エアコンの販売が大幅に伸長しました。店舗で重点販売に取り組んだ結果、エクспライズ㈱のPB商品（MAXZEN）も好調に推移しました。また、中東情勢の影響としては、エアコンの配管部材が好調でした。その結果、売上高は111億5百万円（前年同期比110.4%）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における資産残高は、季節的要因による商品の増加や、借入金の返済による現金及び預金の減少などから、資産合計は前連結会計年度末に比較して245億5千0百万円減少し、6,463億3百万円となりました。

負債残高は、借入金の減少などから負債合計は前連結会計年度末に比較して120億9千9百万円減少し、3,605億7千7百万円となりました。

純資産残高は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加の一方、配当金支払いによる減少やその他有価証券評価差額金の減少などから、純資産合計は前連結会計年度末に比較して124億5千1百万円減少し、2,857億2千5百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期の連結業績予想につきましては、2026年4月14日の決算短信発表時に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	85,510	63,080
受取手形及び売掛金	12,675	21,591
リース投資資産	863	843
商品	165,358	171,848
その他	8,175	11,085
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	272,583	268,449
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	100,267	99,308
土地	113,540	113,540
リース資産(純額)	12,317	11,906
建設仮勘定	1,525	1,627
その他(純額)	5,891	6,455
有形固定資産合計	233,541	232,837
無形固定資産		
のれん	50,866	50,089
借地権	5,526	5,526
ソフトウェア	7,655	7,795
その他	11	10
無形固定資産合計	64,060	63,422
投資その他の資産		
投資有価証券	57,198	38,497
敷金及び保証金	40,253	40,003
繰延税金資産	980	927
長期前払費用	1,054	996
その他	1,268	1,253
貸倒引当金	△86	△86
投資その他の資産合計	100,669	81,592
固定資産合計	398,271	377,853
資産合計	670,854	646,303

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,073	32,070
電子記録債務	29,615	24,574
短期借入金	3,532	2,270
1年内償還予定の社債	23	—
1年内返済予定の長期借入金	18,064	80,136
リース債務	1,663	1,658
未払法人税等	5,228	3,576
賞与引当金	2,100	1,921
契約負債	5,800	6,961
資産除去債務	21	6
その他	19,277	21,592
流動負債合計	112,400	174,769
固定負債		
社債	35,000	35,000
長期借入金	186,348	118,584
リース債務	14,963	14,545
繰延税金負債	8,115	2,957
再評価に係る繰延税金負債	148	148
役員株式給付引当金	278	145
株式給付引当金	728	706
資産除去債務	4,043	4,047
長期預り金	6,050	6,005
その他	4,599	3,666
固定負債合計	260,276	185,807
負債合計	372,677	360,577
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,973	19,973
資本剰余金	53,949	53,949
利益剰余金	211,071	214,187
自己株式	△10,226	△13,036
株主資本合計	274,767	275,074
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,952	12,047
繰延ヘッジ損益	△1	2
土地再評価差額金	△1,932	△1,932
退職給付に係る調整累計額	392	534
その他の包括利益累計額合計	23,409	10,651
純資産合計	298,177	285,725
負債純資産合計	670,854	646,303

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
売上高	136,161	149,432
売上原価	88,789	97,891
売上総利益	47,372	51,541
営業収入		
不動産賃貸収入	2,165	2,510
営業総利益	49,538	54,052
販売費及び一般管理費	39,852	42,678
営業利益	9,685	11,373
営業外収益		
受取利息	24	26
受取配当金	155	171
為替差益	—	101
その他	96	88
営業外収益合計	275	388
営業外費用		
支払利息	771	783
支払手数料	10	13
その他	23	30
営業外費用合計	805	828
経常利益	9,155	10,933
特別利益		
固定資産売却益	1	—
投資有価証券売却益	—	20
抱合せ株式消滅差益	78	—
その他	9	—
特別利益合計	88	20
特別損失		
固定資産除売却損	96	50
その他	14	4
特別損失合計	110	55
税金等調整前四半期純利益	9,134	10,898
法人税、住民税及び事業税	2,457	3,501
法人税等調整額	795	838
法人税等合計	3,252	4,340
四半期純利益	5,881	6,558
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,881	6,558

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	5,881	6,558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,620	△12,904
繰延ヘッジ損益	39	3
退職給付に係る調整額	—	141
その他の包括利益合計	3,659	△12,758
四半期包括利益	9,541	△6,199
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,541	△6,199
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年12月26日開催の取締役会決議に基づき、当第1四半期連結累計期間において自己株式の取得を実施しております。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が2,819百万円増加しております。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

四半期連結会計期間末日満期手形等

四半期連結会計期間末日満期手形及び四半期連結会計期間末日確定期日現金決済（手形と同条件で手形期日に現金決済する方式）の会計処理については、手形交換日及び出金日をもって決済処理をしております。なお、四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形等が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
受取手形及び売掛金	3百万円	3百万円
電子記録債務	13,239	7,613

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	3,231百万円	3,278百万円
のれん償却額	589	776

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結財務諸表計上額 (注) 3
	ホームセンター事業	エクспライズ事業				
営業収益						
外部顧客への売上高	123,126	15,134	66	138,327	—	138,327
セグメント間の内部売上高又は振替高	55	531	5,186	5,772	△5,772	—
計	123,181	15,665	5,253	144,100	△5,772	138,327
セグメント利益	9,856	122	4,991	14,970	△5,284	9,685

(注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)及び(株)マイボフェローズにおける取引等です。

2. セグメント利益の調整額△5,284百万円は、セグメント間取引消去△4,819百万円、のれん償却額△465百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結財務諸表計上額 (注) 3
	ホームセンター事業	エクспライズ事業				
営業収益						
外部顧客への売上高	135,990	15,887	65	151,943	—	151,943
セグメント間の内部売上高又は振替高	29	683	7,056	7,769	△7,769	—
計	136,019	16,571	7,121	159,712	△7,769	151,943
セグメント利益	11,607	244	6,836	18,688	△7,314	11,373

(注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)及び(株)マイボフェローズにおける取引等です。

2. セグメント利益の調整額△7,314百万円は、セグメント間取引消去△6,661百万円、のれん償却額△652百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

3. 補足情報

商品別売上情報

(単位：百万円、%)

事業部門	前第1四半期 連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)		当第1四半期 連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)		(参考) 前連結会計年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
ホームセンター事業						
園芸	26,684	19.6	28,631	19.2	76,610	14.4
ホームインプルーブメント	26,467	19.4	29,790	19.9	108,200	20.3
ホームレジャー・ペット	19,187	14.1	20,292	13.6	73,977	13.9
ハウスキーピング (注) 1	28,464	20.9	30,472	20.4	115,134	21.6
ホームファニッシング (注) 1	5,841	4.2	5,928	4.0	23,034	4.3
ホームエレクトロニクス	10,060	7.4	11,105	7.4	51,109	9.6
その他	3,900	2.9	6,648	4.5	17,471	3.3
商品供給高他	355	0.3	610	0.4	1,524	0.3
ホームセンター事業計	120,960	88.8	133,479	89.4	467,061	87.7
エキスパライズ事業	15,134	11.2	15,887	10.6	65,789	12.3
その他の事業	66	0.0	65	0.0	255	0.0
合計	136,161	100.0	149,432	100.0	533,107	100.0

(注) 1. 前連結会計年度末まで「ホームファニッシング」に含めていたダイニング・キッチン、バス・トイレタリーは、当第1四半期連結累計期間期首より「ハウスキーピング」へ含めて表示することといたしました。この変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度の「ハウスキーピング」、「ホームファニッシング」の金額を組み替えております。

2. ホームセンター事業の部門別の主な取扱商品は、次のとおりであります。

部門	取扱商品
園芸	園芸用品、大型機械、農業・業務資材、屋外資材、植物他
ホームインプルーブメント	作業用品、金物、工具、塗料、補修、木材、建築資材他
ホームレジャー・ペット	カー用品、スポーツ、玩具、自転車、レジャー、ペット用品他
ハウスキーピング	日用消耗品、文具、ダイニング・キッチン、バス・トイレタリー、ヘルスケア・ビューティケア、食品他
ホームファニッシング	インテリア、寝具、家具収納他
ホームエレクトロニクス	家庭電器、冷暖房、電材・照明、AV情報機器、住宅設備、エクステリア他
その他	テナント植物、テナントペット、灯油、工事費、サービス料他